

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鋼構造耐火設計小委員会	主 査 名：河野 守 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：緑川光正
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会『鋼構造耐火設計指針』の改定を目的とする。 ・ 2010 年度：防火区画の健全性に関する検討，最新の知見に関する情報収集を行い、主改定事項の洗い出しを行う。 ・ 2011 年度：主改定事項に関する検討，最新の知見に関する情報収集を行い、改定案の大枠を確定する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：河野守 (東京理科大) 幹事：平島岳夫 (千葉大) 委員：鈴木淳一 (建築研究所)、大塚貴弘 (名城大)、岡部猛 (熊本大)、尾崎文宣 (新日本製鐵)、近藤史郎 (清水建設)、高木次郎 (首都大学東京)、原田和典 (京都大)、松戸正士 (フジタ)、森田武 (清水建設)、若松高志 (日本防災研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 防火区画の健全性に関する検討については、資料を収集し意見交換を行った。現状でも実験的研究を含めて検討が進められている状況を明らかにした。 2. 最新知見の情報収集については、前項のほか、区画を超えた火災性状の予測方法、超高力ボルトの高温耐力、各種ばらつきの影響について情報を収集した。 3. 主要改定項目について洗い出しを取りまとめた。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の公募を行ったが、応募者がなく関係者の関心を高める工夫が必要。